



年のは、デオつかく策を建ているのでを

検∄を廢し木曜日 発酵 全般月曜日の を以で休刊日と 探狩り NUMBER OF *XXXX 新ひたちを死物の人の注意するもの類が 他の端にのみ動き居と見る、早の光像を はの端にのみ動き居と見る、早の光像を 甲型がなるもれるの御里すますの 岸の入り来るを見て家の内に影轉びし間 とうでした、今後は大かち

B

何能のて作品さん、先づ

内ですべ、一ツの年みだ」

3 7 Ti

高品は最大なに近っ

一人のみが

りし物味の粉 仕合せのとなりを開け成なくに、大店町客屋の船ので

北京町客屋の船ゆるとなしとはラモサの時にやけになし繁盛の城に進み十六

入の後後子にてきっとして見むし

居る

唯一批

大一時し間間光の機像りで強くる取

りできまりの。 のでは、 の

防夫の一人が猛火の間に屋上に立ち必死が、解除したるなに保険が、大阪田身ではかり名を逸せしは遺体なり消息にてよるがに二二日に大阪田身ではかり名を逸せしは遺体なり消息にてよのがに二二日に

一間前後ならんといるが用信柱には何等の

動は充分の監視をして居る者があると

既の分は皆な順名の中

是一それは只の過失界で銀錐規則の開金とでせらか」

丁早稲田はどうなるですかり

るのを待の必要があるこ

くちやならないですっそれた見る田本木何にもなられから、僕は一度出かけな

何にもなられから、僕は」と思かけて

風傷出人

は五千計りなんです、

めの五万から僅かに一割と失くたので

安開さしてはねられないのは」

奴等は原用をしながめせる

成る程

とていで、そうすれば独の意味、奴等も馬鹿なやないか 警察

市面 發揮 海水 四班 金 帝國難仍艦隊發安 神田聚次郎藏金 地投げた人は親で多れかり人は「これの神社の心臓があった」という。

ら用意しばや単する歌は宇襲装の他出版さ

m

柳 柳井何ち

北北山

帝國級男艦隊發金 要用英次節義會

店原答城

単三元の 七四カ七

小天縣校 井 集安山歌

ጟጟጟጟ 的 包括七七

C . 7

华斯馬芙 財政 村本 北 東

ለአለቲ 力等的五

三人生。 黄瘤未深 調動所用

五五四四 大口大 OCOL MACON. 大新俊 不**對**數 ቪኧኢኒ

O. 10 命勿咒三 -000

七ななな

● 釜川天 東湾南

一寸甚ノクヨル

北又西ノ風晴後雲、 手手

IdA 0 OSAK

事があるのでしている神音気をかける 官が 選が 矢(名) 北大地震に三十世界後本でへして会人で大地震に三十世界後本でへして会人では、地震は計能の単は東端中なる

一個かな経典の五個

位

ij.

ヘルノ彼意

のに即座候間御希望の御方の御婦で致病候處今回愈々發明實行住院で対病候處今回愈々發明實行住院を分離離申上候練者私義改良白毛染が、 髪店方へどん~~御光来之程を 問ハず、雨天晝夜の嫌ぎく、本! 赤百 毛 良/ 染染白

神経は大から

架

廣告

レケナヲシ

14K

签山本町 本町室丁田の角伊戸埋まれ御婦人様で、男子方を にして衛生上無害のも、 り、現務明には数年売背 理市地 布上等 13

-79-

1

麗 九 十 館 (日 曜 土) (刑 日) 且一十月二年八十三治明 「日日七月一年七升清月」(四) 朝 リ大上願就增弊其 ラテ り
お
揚
賃
れ
る
。 ケ石 南灰候二,盛店他漆香黄毛 ズハ汎ノー 人市 何尚の通るエニ上恭 鄉屬蓋切毛特素大 少 リベヤ上二瀬 ŀ ニ附他テ金韓 赴位置類洗 店町橇 二層客當落二中百磨 共二 安全 輪 火人類兩並 鰶 王 人諸 所兼取下五將業 白米 勉彦ハ 米小 自石機 印象布 **鲁勉段爱式** 候伸雖寸各分廣 ヲ非 ノ强辱顧 取 山. 自實 御仕クニ 油ん 石製即フ 一 如 [] a , 质 雷 ラ文 一份。 願ラ顧迅 引益器ョ 即取次キ御 類類和鏡を 平·以被 候営ヲ速 村 立々謝り キリデ告 也業蒙卜 m的 町テ成 紙類類 類 一 プ御仕テ 无 电压出 費 南 相 販下 仕リ非 希愛候日 號 談 = 岡賣候 リッ常 委为石二 仕 俟さえ 屋問服吳小應 應らば 三京収 朓家 候ハ 約吸賣店 手贩 條有勉 - 速果石 浪釜拔强勉望量 大 1 米 多之強 古本 河沿親加 少候小 光築 係。 和 寧 館 明清 Ð 本 表工品 名 店 用便勉義 係付依 JI IC 仰宜强製 17 販 付をを進入す 被相以地 大月 度 屋 H 可介 aş. 廣 下計てと 度り顧特 吉訓偏可容約 小のひ 支 倉 目丁三町西 耶 店 候何注品 商場 取書龍 安子州山 川太龍 安子州山 寒川 長門 3 丸 丸丸丸丸丸丸 號丸丸 釜 初年 曲訴 同 全 全 ih 可任英 二月十二日 2 那 批告廣 月月十 回 二月七三日 HH 13 Щñ HH 和个人 本町代理店 14川回漕店 城語 1七八番 水町海岸郵餐局 14川回漕店 城市 14川回漕店 送が八十一日 習幣

京 1 專座

発育日 续聚名

七百行

100 to 10

-00 -00

死长

の記述

計畫縣實

本權義

區 教川

9回門列 第二十〇 大七六

_3 0 R

がまって サニー 新 一 四 三 九

**

<u>=</u>-8

ふみた。 - Q五 五三〇

舍 **御春着用嶄新抦** 原白歪山支店

自協

劑

第壹回降時販賣廣告

弊店は時局且鑑み左の方法を以て来る二日より紀元節まで向十日に 質上金の内閣價を控除し利益の全部と協会す ○余五間以上御買書の方は特に新組紙を以て御姓名を設告 ○余五間以上御買書の方は特に新組紙を以て御姓名を設告 ○最品は御本店の上海)電波下度廣告候也 ○最品は御本店の上海)電波下度検 花間

明治三拾八年或月一日 版 下村 釜· 山 支 店

和醫安妙 風

らぶ天京東 會席仕出 進節其

可住候 安庭 : 御訓 外御注文次 居住出し 店支わきて京東 目了四町西山釜 角リ世筋町屋治銀 わき E

組出張所

数据 | 上 | 数安 | 市 | 上 遊店 牛純 営

唐津石炭

北十年**海科西院**

野 療米廉價販賣

電話三十

迅乳良健 速康 ***** 配(建大明) 比 達 集 集

奉可一丁目長手通山口新聞舖

明 報一ヶ月特 三拾錢

合 齊藤商品 16年度上1 t釘各種 T 子 鉄 各種

セルを送るの書に擬

九第

號十

見るさるなく

に顕情できな山の峰も今日は遊を帯びたれて顕情できな山の峰も今日は遊を帯びたれても見るす 流石の如く間や野時に体みれても見るす 流石 は取しけながら一人の趣きを添へたり香はに風情にき辞山の峰も今日は煙を飛びたれ

聞け勇士しの肚夫が 草むす風な域の為め がはれるの為め

輪 八元

世緒 体號 一四四

市電池

大坂毎日新聞

吹き放つ可急時は来ぬ料戸乃風の八事宴を

多の解土を之に失ふ可かりしを、併せ発ったかわりの次みければ小止みだになる解を断くて其部下、大管教を敷ふと全時に我茂」は変しけながら一人の趣きを添へたり書は

-81-

堂